学校番号	3002

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　ＬＴ現代文３（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章を使った問題演習に取り組み、「読む能力」とともに、「書く能力」をしっかりと身につけましょう。
・各問題にある「要約」は必ずするようにしましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・レポートなどの課題にも積極的に取り組んでください。
・小論文や自己ＰＲ文などの文章作成にも取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・問題演習を通して、進路実現のために必要な総合的な国語力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章の趣旨をすばやく把握できるように、要約力をつける。
・小論文、志望動機、自己紹介文などさまざまな文章を書くための表現力を身につける。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその工夫を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	問題演習 ［教材］ ・「遊びの効用」(評論) ・「デジタル大航海時代」(評論) ・「手作りの味」(小説) ・「脳の機能と発達」(評論) ・「新しい様式への発展」(評論) ・「意識とは何か」(評論) ・「淡い喜び」(小説) ・「美術の生存を賭けた闘い」(評論) ・「李白の詩と人生」(評論) ・「場所に根差した建築」(評論) ・「紙の本を読むということ」(評論) ・「文明の建設」(評論)	a：基礎的な語句の意味や用法を理解する。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成を考えて、筆者の考えを的確に把握している。 c：文章の内容を理解するだけでなく、表現や構成の工夫を考えながら読もうとしている。要約文を作成させる。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート 振り返りシート
	表現活動 ［教材］ ・小論文の基礎 ・文章の書き方について	a：基礎的な語句の意味や用法を理解し、自分のものにする。 b[書]：「書くこと」において、適切な表現で文章を書くことができる。 c：表現を工夫しながら自分の考えを伝えることができる。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート 振り返りシー
2学期	問題演習 ［教材］ ・「小さくて大きな背中」(小説) ・「なぜ散る桜なのか」(鑑賞) ・「言葉の切り開く世界」(評論) ・「味わい楽しむ暮らしの余白」(評論) ・「妻の意外な返答」(小説) ・「社会が生み出すアイロニー」(評論) ・「自己を眺める」(鑑賞) ・「文学の芸術的価値」(評論) ・「伝統の形成」(評論) ・「新しい価値を求めて」(評論) ・「堅固な決心」(小説)	a：基礎的な語句の意味や用法を理解する。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成を理解し、筆者の考えを的確に把握する。 c：文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート 振り返りシー
	表現活動	a：書き言葉と話し言葉の区別ができ、書き言葉を適切に使用することができる。	定期考査	定期考査	ノート

	［教材］ ・作文「これからの心構え」 ・作文「高校生活について」）	b[書]:「書くこと」において、表現に工夫しながら自分の意思を伝え、適切な表現で文章を書く。 c:伝える意識をもって表現しようとしている。要約文を作成させる。		ノート	ワークシート 振り返りシー
3学期	問題演習 ［教材］ ・「日本語における否定」(評論) ・「記述問題を強化する」(評論) ・「哲学の役割」(思想) ・「二つの文章を読み比べる」(評論) ・「自分のことばで表現する」(評論) ・資料活用問題	a:基礎的な語句の意味や用法を理解する。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成を理解し、筆者の考えを的確に把握する。 c:表現に気をつけながら内容を理解しようとしている。要約文を作成させる。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート 振り返りシー
	表現活動 ［教材］ ・テーマ作文 ・作文「10年後の私」 ・コミュニケーショントレーニング	a:用途に応じた文章表現ができる。 b[話・書]:「話すこと」「書くこと」において、表現に工夫しながら自分の意思を伝え、適切な表現で文章を書く。 c:何を伝えるべきかを理解し、適切な方法で伝えようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート ワークシート 振り返りシー

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間